



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページが新しくなりました

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...

チャレンジ

8月号 AUG 2019

<http://www.maruto-shoji.co.jp>



2019年7月23日北海道富良野地区 左北もみじ2000 右バレットペア

ひとつずつ

7月号に梅雨らしい梅雨というように書きましたが、いつも以上に梅雨らしい梅雨となってしまったようです。東京都心では6月27日から7月29日まで33日連続で降雨があり、1954年の記録を超え過去最長記録となりました。降雨自体は同じ期間で平年の1.4倍ほどであったそうです。私の実感としては「影を見ていない」という感じでした。雨も降っていましたが、それ以上にずっと曇りだったように思います。とにかく晴れ間がない。自分の影を見ていない。7月上旬から中旬にかけての日照量は平年のわずか17%だったとのこと。気温も低く、関東では平年を実に12年ぶりに下回ったそうです。そして平年より8日遅い29日に関東地方は梅雨明けとなりました。一転、非常に暑い日が続いています。野菜の調子もそうですが、人間もしっかり体調管理をしていかなければいけませんね。

何をもちて天候異常なのか、もはやわからないような状況ですが、野菜の業界はというとそれほど騒いではいません。玉葱については現在府県産地の貯蔵品が流通しています。市況はそれほど動きがない状況なのですが、弊社入荷原料としてはあまりよろしくない原料の入荷状況となっています。どこがというわけではないのですが、傷みが入っていたり、泥の付着が多かったり、日持ちが悪かったり。

ひとつずつ課題を産地様とお互いのために会話をしていかなければなりません。毎年玉葱の生育環境は異なりますが、今年に関しては概ね収穫時期の降雨が悪さをしているような印象があります。お客様に、より良い商品をお届けできるように産地様と会話をしてまいります。

今後の産地となる北海道地区の玉葱視察を順次行っております。6月末に北見、美幌地区、7月下旬には富良野、美瑛地区の玉葱圃場を視察してきました。

富良野地区はこれまで非常に北海道らしい天候に恵まれたとのこと。訪問時（23日時点）では早生種は既に根切りが行われており、あと数日で収穫作業という状況でした。また晩生に近い北もみじ2000も既に倒伏が始まっており、若干早いような印象です。しかしながら既に玉太りは進んでおり、早い倒伏と思われる2000も既にL以上には生育していました。倒伏から凡そ3週間後の収穫と考えるとまずまずの状況ではないかと思えます。北海道産玉葱は品質・量ともに良いのではないのでしょうか。期待したいと思います。

“食”の分野で役立つマーケティング情報

先日の北海道への出張のできごとです。その日はリーズナブルですが効率的なサービスが有名でビジネスマンや旅行者に人気のある全国チェーンのホテルに泊まりました。チェックインを済ませて入った部屋はダブルベッドの頭の位置の上に横向きで簡易型のベッドが設置されているなど、いかにも効率だけを考えているようで落ち着かない印象でした。荷物を整理していると、やけに大きな浴室の換気扇の音が気になり（個人的に音には敏感です）、これでは眠れないと換気扇のスイッチを切ろうとしましたが、いくらスイッチをOFFにしても換気扇は止まりません。「もしかしてこれは換気扇が止まらないように設定をされているのでは」という不安と部屋への良くない印象と合わせて、このホテル選んだことへの後悔の気持ちが。

ゆっくりと眠るためにはこの換気扇を止めなければならないので、とにかくフロントへ連絡をしました。私が換気扇をどうしても止められないという不満と眠れない心配を伝えると、フロント係の第一声は「それは、本当にお困りですね」というものでした。その言葉を聞いた瞬間、先ほどまでのこのホテルへの不満がスーッと消え、何か不思議な心地よさを感じたのです。それは「ああ、このフロント係は私が困っていることや不安を本当に理解してくれているんだ」という満足感のようでした。もちろん、このフロント係はホテルの指導により意識をしてそう言ったのか、あるいは心からそういう気持ちで無意識にそう言ったのかはわかりません。しかし、なによりもまず私の状況に対して理解と同情の言葉を最初に伝えてくれたことは、私の不安や怒りを安心と満足に変えたのです。このことは私に効果を生むコミュニケーションについて、あらためて考えさせてくれる出来事でした。

家族や友人同士、そして仕事でもLINEなどSNSをよく使います。ただですら話し手の気持ちを理解するのは難しいのですが、SNSでのメッセージのやり取りとなるとさらに面倒くさいと思うこともしばしばです。先日も嫁から「なんか怒ってるの？」と言われ、なんのこともかさっぱりでしたが、聞けば私がLINEのメッセージで最後に句点を打ったことに対する指摘だったのです。文の終わりにマルをつけることは、文章を硬くするだけでなく機嫌が悪い印象を与えるとのこと。「駅で7時に。」より「駅で7時に！」あるいは「駅で7時に～」のほうが良い印象を与えるというわけです。「そんなつもりではないのに」という勘違いは日常茶飯事ですが、これも今の時代の書き言葉のコミュニケーションの難しさかもしれません。もちろんこの後、私は嫁へのLINEでマルを使わないようにしています。

もうすぐラグビーのワールドカップが日本で開催されます。元ラグビー日本代表ヘッドコーチのエディー・ジョーンズは日本代表のヘッドコーチに就任したときに日本の文化、中でも人々の話し方や振る舞いなどを理解することを大切にしていました。日本代表メンバーに個人的なことを伝える必要がある場合は、必ず別の場所で対面で話すことを心がけていたそうです。日本人がチーム全員の前で自分一人が褒められたり、逆に批判されたりする選手が嫌がることを知ったからでした。前回のラグビーワールドカップでの日本代表の活躍は、コミュニケーションの力も大きかったのかもしれない。



木下康司 きのしたこうじ
1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。
デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組み続けている。
<http://www.kino-company.com>

8月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	富山 他	貯蔵品での対応となります。品質注意して加工します
輸入黄玉葱	NZ	品位は例年に比べると弱いです。加工に注意します
中国剥き玉葱	山東省	品質は良好 安定しています 価格は高めに推移しています
国産赤玉葱	府県産(淡路他)	府県産地に代わりました 品位はバラツキを感じます
輸入赤玉葱	NZ	品位は例年に比べると弱いです。加工に注意します

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。
お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315